

アンケート調査項目（案）

大項目	中項目	番号	設問	選択肢
1 在宅医療について	1 在宅医療についての質問です			
	在宅医療の充足状況に関する意識	(1)	市内の在宅医療に関わる各機関の状況について、貴事業所の考えに最も近い選択肢をお選びください。 ① 在宅医療を実施する病院 ② 在宅医療を実施する診療所 ③ 緊急時の入院等ができる後方支援病院 ④ 訪問歯科診療を実施する歯科診療所 ⑤ 在宅患者への訪問対応を行う薬局 ⑥ 訪問看護ステーション	ア 充足している イ おおむね充足している ウ やや充足している エ 不足している オ わからない
	在宅医療の推進に何が必要か	(2)	在宅医療の推進のために、何が必要だと思いますか。以下の選択肢からお選びください。（3つ以内）	ア 多職種による24時間対応体制の整備（夜間・休日の連絡・往診対応等を含む） イ 訪問診療医不在時に、他の医師が代診できる体制の整備 ウ 在宅療養患者の急変時に円滑に入院できる体制の整備 エ 在宅医療を行う病院・診療所数の増加（新規参入の促進） オ 訪問看護ステーション数の増加（新規参入の促進） カ 介護・障がい福祉サービスによる生活支援体制の充実 キ レスパイトケアなどの家族負担軽減のためのサービスの充実 ク 医療・介護・障がい福祉の多職種が連携できる体制の充実 ケ ICT等を活用した情報共有の推進 コ 人生会議（ACP）や看取りに関する市民や多職種への普及啓発の推進 サ 在宅医療の仕組みや利用方法に関する市民や多職種への普及啓発の推進 シ その他（ ）
	在宅医療についてのご意見	(3)	在宅医療について、日頃感じていることやお考えになっていることがございましたら、ご自由にご記入ください。	
	2 多職種連携についての質問です。			
	多職種連携の状況（10年前との比較）	(1)	（医療・介護機関の皆様にお聞きします） 10年前と比較して、医療・介護における多職種連携の状況はどうなっていると思いますか。貴事業所の考えに最も近い選択肢をお選びください。 ① 10年前と比べて多職種連携がしやすくなった ② ①で回答した理由を記入してください。特にない場合は「なし」と記載してください（自由記載） ③ 自分以外の職種についての理解が深まっている ④ 患者・利用者のことについて情報連携・共有がしやすくなった（はこだてサマリーやID-Link, その他のツール等の活用） ⑤ 地域の資源（在宅医療や介護サービス等）に関する情報が得やすくなった ⑥ 現時点で自職種との連携強化が必要と思う関係者を選んでください（複数回答）	【①、③～⑤の選択肢】 ア 非常にそう思う イ まあそう思う ウ どちらともいえない エ あまりそう思わない オ 全くそう思わない 【⑥の選択肢】 ア かかりつけ医（診療所） イ かかりつけ医（病院） ウ 歯科医（病院・診療所） エ 薬局 オ 病院スタッフ（病棟看護師，外来看護師，リハビリスタッフ） カ 病院スタッフ（MSW，退院支援Ns） キ ケアマネジャー ク 訪問看護ステーション ケ 訪問リハビリテーション事業所 コ その他（ ）
	多職種連携の状況（10年前との比較）	(2)	（医療・介護・障がい福祉機関の皆様にお聞きします） 10年前と比較して、医療・介護と障がい福祉機関間における多職種連携の状況はどうなっていると思いますか。貴事業所の考えに最も近い選択肢をお選びください。（医療・介護機関の皆様においては、障がい機関との連携の場面についてご回答願います。） ① 10年前と比べて多職種連携がしやすくなった ② ①のように回答した理由を記入してください。特にない場合は「なし」と記載してください（自由記載） ③ 自分以外の職種についての理解が深まっている ④ 患者・利用者のことについて情報連携・共有がしやすくなった（はこだてサマリーやID-Link, その他のツール等の活用） ⑤ 地域の資源（在宅医療・介護・福祉サービス等）に関する情報が得やすくなった ⑥ 現時点で自職種との連携強化が必要と思う関係者を選んでください（複数回答）	【①、③～⑤の選択肢】 ア 非常にそう思う イ まあそう思う ウ どちらともいえない エ あまりそう思わない オ 全くそう思わない 【⑥の選択肢】 ア かかりつけ医（診療所） イ かかりつけ医（病院） ウ 歯科医（病院・診療所） エ 薬局 オ 病院スタッフ（病棟看護師，外来看護師，リハビリスタッフ） カ 病院スタッフ（MSW，退院支援Ns） キ 相談支援員 ク ケアマネジャー ケ 訪問看護ステーション コ 訪問リハビリテーション事業所 サ その他（ ）
	多職種連携推進のために必要な取り組み	(3)	今後、この地域において、医療・介護・障がい福祉関係者による多職種連携を推進するために、どのような取り組みが必要だと思いますか。必要だと思うものを3つお選びください。	ア 多職種連携や相互理解に関する研修会 イ 多職種連携や相互理解に関する事例検討会 ウ 関係機関等へ出向いて行う出張講座 エ 異職種間の意見交換会など顔の見える関係づくり オ 新たなツールや冊子の作成（具体的に記載）（ ） カ サマリーの活用による情報共有と連携の推進 キ ID-LinkなどICTの活用による情報共有と連携の推進 ク 医療・介護・障がい福祉や多職種連携に関する相談窓口の充実 ケ 医療・介護連携マップの利便性向上 コ その他（ ）

大項目	中項目	番号	設問	選択肢
2在宅医療における多職種連携について	多職種連携についてのご意見	(4)	多職種連携について、日頃感じていることやお考えになっていることがございましたら、ご自由にご記入ください。	
	3 多職種連携が特に必要となる場面についての質問です。			
	ACP・意思決定支援に関する意識	(1)	ACP（人生会議）や患者・利用者本人の意思決定支援に関する以下の設問について、貴事業所の状況や考えに最も近い選択肢をお選びください。 ① ACPについて知っている（理解している） ② 業務の中でACPを実践する機会がある・実践できている ③ ACPの実践は難しい ④ 医療・介護・障がい福祉サービスを提供するうえで、患者・利用者の意思決定支援は重要だ ⑤ ACPについて学ぶ機会がもっと必要だ ⑥ 一般市民へのACPの普及啓発を進めるべきだ	ア 非常にそう思う イ まあそう思う ウ どちらともいえない エ あまりそう思わない オ 全くそう思わない
	日常の療養支援に関する課題	(2)	日常の療養支援（在宅・施設生活のほか外来含む）の場面での連携に関する以下の設問について、貴事業所の考えに最も近いものをお選びください ① 患者・利用者の医療・介護・生活に関する情報が関係機関の間で十分に共有されている ② 日常の療養の支援の中で、患者・利用者とACPに関する対話ができている ③ 日常の療養支援について、多職種間で相互理解（互いの役割や事情など）を深める機会や情報（冊子等）がある ④ 調整や報告・相談・確認の連絡を行う時間が不足している ⑤ カンファレンスや担当者会議等への参加ができている ⑥ 日常の療養支援に関して、ご意見等がございましたらご記入ください（以前と比べて良くなった点や課題と思われる点など）	【①～⑤の選択肢】 ア 非常にそう思う イ まあそう思う ウ どちらともいえない エ あまりそう思わない オ 全くそう思わない カ わからない
	入退院支援に関する課題	(3)	入退院支援の場面での連携に関する以下の設問について、貴事業所の考えに最も近いものをお選びください ① 患者・利用者の医療・介護・生活に関する情報が関係機関の間で十分に共有されている ② 入院から退院までの支援の中で、患者・利用者とACPに関する対話ができている ③ 急な入退院が必要となった際にも迅速な連携や情報共有ができている ④ 入院先（医療機関）、退院先（在宅支援者、施設支援者）によって、入退院支援・調整の対応が異なり困ることがある ⑤ 入退院支援について、多職種間で相互理解（互いの役割や事情など）を深める機会や情報（冊子等）がある ⑥ 調整や報告・相談・確認の連絡を行う時間が不足している ⑦ 入院時・退院前カンファレンスや担当者会議等への参加ができている ⑧ 入退院支援に関して、ご意見等がございましたらご記入ください（以前と比べて良くなった点や課題と思われる点など）	【①～⑦の選択肢】 ア 非常にそう思う イ まあそう思う ウ どちらともいえない エ あまりそう思わない オ 全くそう思わない カ わからない
	急変時に関する課題	(4)	急変時の場面での連携に関する以下の設問について、貴事業所の考えに最も近いものをお選びください ① 急変時（救急搬送も含む）や急変前の予兆が見られたタイミングで、必要な情報（状態変化等）が関係機関の間で十分に共有されている ② あらかじめ患者・利用者との対話を通じて把握していたACPに関する情報を、関係機関に提供できている（提供を受けている） ③ あらかじめ急変時の連絡先や相談窓口が定められており、関係機関の間で共有されている ④ 急変時の対応について、多職種間で相互理解（互いの役割や事情など）を深める機会や情報（冊子等）がある ⑤ 急変時の場面に関して、ご意見等がございましたらご記入ください（以前と比べて良くなった点や課題と思われる点など）	【①～④の選択肢】 ア 非常にそう思う イ まあそう思う ウ どちらともいえない エ あまりそう思わない オ 全くそう思わない カ わからない

大項目	中項目	番号	設問	選択肢
	看取りに関する課題	(5)	看取りの場面での連携に関する以下の設問について、貴事業所の考えに最も近いものをお選びください ① 本人・家族の意向やこの先の経過（予測される病態変化やそれに伴う対応等）について関係機関の間で十分に共有されている ② 看取り期の支援の中で、患者・利用者とACPIに関する対話ができている ③ あらかじめ看取り期における連絡・相談の経路が定められており、関係機関の間で共有されている ④ 看取りについて、多職種間で相互理解（互いの役割や事情など）を深める機会や情報（冊子等）がある ⑤ 看取り期支援に必要な知識や経験が備わっている ⑥ 看取りに関して、ご意見等がございましたらご記入ください（以前と比べて良くなった点や課題と思われる点など）	【①～⑤の選択肢】 ア 非常にそう思う イ まあそう思う ウ どちらともいえない エ あまりそう思わない オ 全くそう思わない カ わからない
		(6)	災害発生時であっても必要な在宅医療・介護・障がい福祉サービスを提供するために、何が重要だと思いますか。以下の選択肢からお選びください。（3つ以内）	ア ICT等を活用したリアルタイムの情報共有・連携体制の整備 イ 災害発生を想定した平時からの情報共有・連携ルールの整備 ウ 行政を含む関係機関間の横断的な連携体制（災害時協定など）の整備 エ 担当する在宅療養患者（または入院（所）者）の安否確認手順の確立 オ 災害対応やBCP（業務継続計画）等に関する基礎的な研修の実施 カ シミュレーション・ロールプレイ等による実践的な災害対応研修の実施 キ 災害対応やBCP（業務継続計画）等に関する先進事例や知見の共有（研修以外の情報共有） ク その他（ ）
	災害時に関する課題	(7)	災害時に関して思いやご意見がございましたらご記入ください（不安や困りごと、実際に困ったこと、課題と思われる点など）	
3	4 医療・介護連携推進事業における函館市と函館市医療・介護連携推進協議会および函館市医療・介護連携支援センターの取り組みについての質問です。			
	センターとその取り組みの認知度	(1)	センターとその取り組みを知っていますか。	ア 知っており、利用したことがある →(2)-1へお進みください イ 名前を聞いたことがある程度 →(3)へお進みください ウ 知らない →(6)へお進みください
	取り組みや各種ツールの利用状況など	(2)-1	センターの取り組みのうち、利用したことがあるものを全て選択してください。	ア 相談窓口 イ ホームページ ウ 医療・介護連携マップ エ 医療・福祉関係者向けの研修会 オ はこだて医療・介護連携サマリー カ はこだて入退院支援連携ガイド キ はこだて療養支援のしおり ク 急変時対応シート ケ もしもノートはこだて コ 在宅看取り冊子「大切な方の旅立ちを支える皆様へ」 サ コラムの公開 シ 関係機関・団体向けの出張講座 ス 研修情報の収集・公開 セ ID-Linkの介護事業所への周知 ソ 市民向けの出前講座 タ 住民公開講座
		(2)-2	(2)のA～タのうち、貴事業所として特に役立っていると思う取り組みをお選びください（3つ以内）	
	センターを知ったきっかけ	(3)	センターのことを何で知りましたか。1つお選びください。	ア ホームページ イ リーフレット ウ ポスター エ センター職員による事業所訪問や周知活動 オ 職場内での情報共有 カ 研修案内等のメール・FAX キ わからない・忘れた ク その他（ ）
	相談窓口の利用状況	(4)-1	センターの相談窓口を利用したことはありますか。	ア ある→(5)-1へお進みください イ ない→(4)-2へお進みください
		(4)-2	(4)-1でないと答えた方に質問します。これまでセンターの相談窓口を利用したことがない理由を1つお選びください。	ア 利用する必要がなかった イ 相談窓口があることを知らなかった ウ 何を相談できるのかわからなかった エ 時間がなく相談できなかった オ その他（ ）
	これまでの取り組み	(5)-1	貴事業所の職員は、令和7年度にセンターが開催した研修会に参加していますか。	ア 1名の職員が1回参加した イ 1名の職員が2回以上参加した ウ 2名以上の職員が1回参加した エ 2名以上の職員が2回以上参加した オ 参加したことがない→(5)-4へお進みください

} (5)-2へお進みください

大項目	中項目	番号	設問	選択肢
みについて	関係者向け研修の利用状況	(5)－2	(5)－1でア～エと答えた方に質問します。研修参加のきっかけは何ですか。（複数回答可）	ア FAX・メールの案内を見た イ センターのホームページを見た ウ チラシを見た エ 職場ですすすめられた オ 知人にすすめられた カ 興味があった キ その他（ ）
		(5)－3	これまで参加した研修会のうち、最も業務の役に立ったと思うものを一つお選びください。	ア 多職種連携研修会（大規模研修） イ 医療関係者向け研修会 ウ 介護関係者向け研修会 エ 在宅看取り研修会 オ 施設看取り研修会 カ 入退院支援連携強化研修会（ガイド編） キ 入退院支援連携強化研修会（サマリー編） ク 急変時対応研修会 ケ オープンカンファレンス コ ID-Link活用推進研修会 サ もしもノート研修会
		(5)－4	(5)－1でオと答えた方に質問します。研修に参加していない理由は何ですか。（複数回答可）	ア 研修の情報を得られなかった イ 興味関心のある内容ではなかった ウ 都合が合わなかった エ 勤務時間外の研修には参加したくない オ その他（ ）
	今後、市やセンターに希望する取り組みについてのご意見	(6)	今後、在宅医療と多職種連携の推進のための取り組みとして、市やセンターに希望することや考えがあればお書きください。（自由記載）	